

9条まもれ・「米軍再編」反対、全国の仲間と共に前進しよう！

6月17～18日、群馬県水上町で全国から248名の仲間が参加し日本平和委員会06年度全国大会が開催されました。茨城からは飯村一雄・加藤岑生・岩間雅美・伊達の4名が参加しました。

今年度の大会の特徴は、運動面では憲法守れ・9条の会と「米軍再編」の取り組みが中心課題となりました。

組織面では昨年に約800名、今年約700名の会員減を厳しく受けとめ運動強化と合わせて「反転攻勢」で仲間づくりに全力を上げることを確認し合いました。まさに「困難に立ち向かう勇氣」を発揮する事が求められています。

全体討論では加藤さんが「米軍機F15くるな2・25県民集会」を中心に報告し、沖縄・岩国・座間のたたかいと同様に高い評価をうけました。

また、その後の分散会では岩間さんが青年の分散会、飯村さんが「米軍再編」反対の分散会、加藤・伊達が財政問題の分散会に出席しました。

役員では今年度から伊達に代わり加藤さんが全国の常任理事に選ばれました。(伊達)

全国大会は吉川春子参議院議員、みなかみ町助役の来賓あいさつがあり畑田代表理事のあいさつ、千坂事務局より大会議案の提案がありました。

その後、会計報告、各地域の代議員からの報告がありました。茨城からはブロック体制をつくったこと、宣伝カーを地域の平和の会のリレーで全県をまわしたこと、「米軍機F15来るな」の運動でも宣伝カーを回し1000名の集会を成功させたことなどを報告しました。その他岩国の米艦載機移転反対運動等の報告がありました。平和委員会の課題として会員拡大の重要性、財政が赤字運営になり、今年度も赤字予算となりました。地域へのオルグの費用の心配等の意見が出され、地域負担をお願いすることになるかもとの話がありました。

青年問題分科会、財政問題分科会、第1～第5分散会がありました。岩間は青年問題分科会に出席しました。青年委員会の責任者より趣旨説明があり、その後青年、中年、老年より発言があり、「うちの娘は昼食は食べないが、朝シャンはやっていく」などの話がありました。そのなかで話を聞く、一緒に考える、文句を言わない」という約束をしたという話がありました。また、大人と青年の生活スタイルが違う、平和委員会の魅力、自分が会になぜ入ったか、距離感を大切にとの話がありました。青年理事のいる県、青年理事のいない県での青年対策その他Eメールができるようにとか、イラク戦争後の青年の変化等の話がありました。

(さくらの町日立平和委員会 岩間雅美)

設立「九条の会アピールを広める会・竜ヶ崎」

「設立の集い」報告

2006年5月27日 出席者:60名

第1部映画日本国憲法 上映

参加した若い女性は「午前中、映画 戦艦大和 をみてきました。期待したのですが、映画はバーチャルな感じで感動しませんでした。引き続き設立の集いの 日本国憲法 を見ました。涙が止まりませんでした。いい映画を企画して下さいました。」と感想を寄せて下さいました。

第2部「九条の会アピールを広める会・竜ヶ崎」設立総会議案

- 1、経過報告
- 2、会の名称について
- 3、会の申し合わせ事項について
- 4、呼びかけ人と賛同者(数)の紹介 《合計238人》
- 5、世話人会について
- 6、世話人を選出する。・・・継続討議とした
- 7、呼びかけ人・賛同者から会計監査を選出する。
- 8、設立後の方針について報告
- 9、「九条の会アピール」の紹介(アピール)
(以上6を除いて承認・確認)

臨時総会のお知らせ

日時 7月2日(日)13:00～16:00
 会場 駒柴公民館
 議題 1)世話人の選出
 2)その他

原子力空母の配備阻止! 米軍再編「合意」を撤回せよ! 7.9首都圏大集会 in 横須賀

在日米軍横須賀基地

ろみ

会場 **フェルニー公園**
(旧臨海公園)

JR 横須賀駅

京浜汐入駅

とき 7月9日午後1時開会

ところ 横須賀市フェルニール公園

11時30分からアトラクションを予定しています。集会后デモ行進を行います。

主催 「7・9首都圏大集会 in 横須賀」実行委員会

会員の方で集会に参加する方は事務局に連絡ください。

平和かわら版

441
月3回 発行
2006.6.25

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会
〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806
E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



皆さんも一歩でも二歩でも 一緒に歩きませんか！

2006年原水禁国民平和大行進茨城県コース 通し行進者の想い

私は本年3月に43年間、技術者として勤めた日本原子力研究所を退職しました。

この間、平和であってこそ原子力研究開発の成果が真に国民の幸福と福祉の向上に貢献できるものと考えて仕事をしてきました。とりわけ核兵器の惨禍を経験した日本の原子力研究開発者は、核兵器の製造開発に手を貸さないで研究開発に専心することを願っています。かつての先輩科学者は核エネルギー研究開発の成果を不幸なことに人類に脅威を与えする核兵器として実現しました。核エネルギーがこのくびきから解放され、人類に真に幸福と生活向上に役立つものにするためにも、「核兵器の廃絶」は大きな願いなのです。

ところが、小泉内閣はこの願いに逆行する、憲法九条を廃棄し、アメリカの軍事戦略に加担し、日本を戦争のできる国に変えようとしています。これは絶対許すことの出来ないことです。

私は、核兵器の廃絶を訴えると同時に、憲法九条の改悪を許さない「九条の会」の結成を呼びかけます。さらに、沖縄嘉手納基地から百里に米軍機F15訓練を移転するなどの米軍再編に伴う日米の軍事強化の危険を告発し、平和を守るために奮闘している平和委員会への加入を呼びかけ、平和を願う心と手をつなぎ共に闘うことを茨城県通し行進者として、お会いする皆さんに直接訴えたいと思います。

宜しくご支援をお願い致します。

(加藤 岑生)

《学習・寸劇・総会》報告

水戸西平和の会 松原日出夫

水戸西平和の会は6月10日 06年度の総会を開きました。

第1部は「学習・交流」で、寸劇「徴兵制と憲法(原作者も出演者も会員)で幕を開け、その後軍隊のこと、憲法のこと、教育と平和のことなど参加者の発言で理解を深めました。

第2部の総会では、9条を守る活動「米軍機くるな」の取り組み、地域の平和のつどいを成功させる活動などを確認し12人の世話人を選出しました。

被爆61年原爆と人間展 in 土浦

8月4日(金)～9日(水)

県南生涯学習センター

パネル展と被爆者の体験談、
土浦市平和使節団の報告、
ビデオ「はだしのゲン」(5日)上映
原爆の詩朗読などをおこなう計画が進められています。

2006年平和のつどい

とき 8月12日(土)

会場 土浦市民会館大ホール

開場 午後1:30 開演2:00 終演4:00 予定

講談 「はだしのゲン」 原作中沢啓治

講談師 神田香織

(音と映像を交えたシンクロ講談戦争と原爆の真実を語る新講談です。)

入場料大人 1,000円(当日1200円)

高校生以下 500円(当日700円)

お誘いあわせの上お楽しみください。

主催：被爆61年平和のつどい実行委員会

実行委員会事務局 029-823-7930

【寄稿】

明仁天皇の平和主義

栗山洋四 (憲法9条の会つくば)

天皇皇后両陛下お揃いでの記者会見をテレビニュースで垣間見た。6月8日からの東南アジア歴訪を前にしたものだが、「愛国心を促す方向での教育基本法の改正案が近隣諸国からは戦前の国家主義への転換として懸念されているが」との質問が出た。

天皇は法案について答える立場にはないとしながらも、「先の大戦に先立ち、国民が自由に発言出来ない時代があったことを日本人が心にとどめ、再度過ちを犯さぬことを信じている。」という発言があった。宮内庁や安部晋三は苦々しく聞いたかも知れないが、日頃から耳にする天皇の歴史認識は首尾一貫している。

明仁天皇は、戦争体験のある世代であり、奥日光での避難生活も経験している。戦後、感受性豊かな中学生のころ、クエーカー教徒のヴァイニング夫人の薫育を受けたことが反戦平和主義の人間形成に寄与したことだろう。

一方、ドイツの元大統領ヴァイゼッカーが、ナチスの暴虐を反省して「過去に目を閉じるものは現在にも盲目になる。」と述べた有名な議会演説(1985)がある。これに比べると、あまりにも控え目で存在感のない平和主義ではあるが、籠の鳥という立場での明仁天皇の勇氣ある発言はそれなりに歓迎される。

ただし、制度としての天皇制の是非は、これはまた別の次元の問題である。



事務局便
笛吹けど誰も踊って
くれない。これが最大の理
由です。
中国国内で3、4のグ
ループに分かれ、格安の親
善旅行。企画は良かったけ
ど・・・
中国旅行は、県、日中協
会が秋頃、東京平和委員会
が十月南方面にと大募集し
ている。(これは昨年日平
企画中国旅行参加者の同窓
会もかねる)悪いけど希望
者はこちらの方へ(ま)
先日の県大会議案資料を
各会に送りますので会員全
員に届けて下さい。
(伊達)